

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連	
<input type="checkbox"/> 有	
<input checked="" type="checkbox"/> 無	

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	図書館のリフォーム事業(主要事業)							
1-2 担当	部	教育部	課 又は施設	図書館	係	図書係	評価票作成者	図書担当係長 柴田 初美
1-3 総合計画における施策の体系	節	教育文化 「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」			基本施策	図書館	コード	4 1 4
	項	生涯学習の推進			単位施策(中)	施設の充実	コード	4 1 4 1
					単位施策(小)	施設のリフォーム	コード	4 1 4 1 2
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	図書館利用者	意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)		図書館利用者が安心して施設利用できるようにする。			
1-5 事務事業の内容	図書館施設(館内・館外)を整備することにより、利用者が快適に安心して利用できる環境を提供する。							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	平成18年度	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み	社会状況等の事務事業がおかれる環境把握	市民ニーズの認識
	平成19年度	館内にあった喫煙場所を屋外に設置した。	公共施設については、全面的に禁煙状態である。	現在では、公共施設は全面的に禁煙状態が常識になっている。
	平成20年度	授乳室に充てる部屋を整備した。	授乳スペースがある公共施設が多くなってきた。	プライバシーが守られ落ち着いて授乳できるスペースが求められている。
	平成21年度	利用しやすいよう駐車場を整備した。	広域貸出や行事の増加等により車で来館者が多く駐車場でトラブルが発生しやすい状況である。	マナーが守られ、気持ちよく利用できる駐車場が求められている。
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	施設のリフォーム		2(件)	4(件)	快適な図書館空間の整備を進める指標 前期 喫煙室・授乳室 後期 おはなしの部屋・その他

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(単位)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	1(件)	1(件)	1(件)							
	人件費 c(千円)	598	69	242							
	合計コスト d(b+c)(千円)	3	3	6							
	単位コスト d/a(千円)	601	72	248							
		1件当たり 601	1件当たり 72	1件当たり 248	当たり						

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 駐車場の整備費 241,500円 1人2H 6,400円

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(件)	1	2	3							
	後期目標値に対する達成度(%)	25.0	50.0	75.0							

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		A	A	A							

4段階評価結果
 A : 上位目的である施策に貢献しているため継続する
 B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
 D : 事務事業の廃止が相当

判断の基準
 必要性(必要な事務事業であるか)
 公共性(公が実施する意味があるか)
 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度		限られたスペースで設計しなければならない。	授乳室の要望があるため、設置場所やその設計。	喫煙室を屋外に設置し、今までの喫煙室のスペースは利用者が飲食できる休憩室に変更した。
平成19年度		安心して利用できる施設が望まれる。	おはなしの部屋が安全性に欠けるため改修が必要。	2階和室を整備して臨時的授乳室に充て、落ち着いて授乳できるスペースを確保した。
平成20年度		〃	〃	駐車スペースの明確化や案内看板の取り付け等、利用者にとって使いやすいよう駐車場を整備した。
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度	A	継続して事業を進めること。	
平成19年度	A	継続して事業を進めること。	
平成20年度	A	継続して事業を進めること。	
平成21年度			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			